

# ARUN Seed

Annual Report 2020-2021

ARUN(アルン)とは、カンボジア語で「暁」、「夜明け」、という意味です。

新しい社会を作ろうという希望とエネルギーをあらわしています。

認定NPO法人ARUN Seed(アルンシード)は、

社会的投資の研究、普及、発展を目的として発足し、

社会課題に取り組む起業家を、投資の形で応援してきました。

投資先は、途上国で「貧困」等の社会課題に取り組む社会起業家です。

彼らは従来の援助に頼らず、

自立的なビジネスの力により貧困問題を解決し、社会に変革をもたらそうとしています。

投資活動を通じて起業家と支援者のみなさまをつなぐ中で、

より持続的で豊かな共生社会に資する「意思あるお金」のフローを創出し、

社会的投資を牽引するプラットフォームを構築することを目指して活動しています。

P02 ARUNの由来、目次

P03 ご挨拶

P04 ARUN Seedについて

P05 私たちのこれまでの歩み

P06 2020年度の活動内容 CSIチャレンジIIIの開催

P08 2020年度の活動内容 投資先企業のモニタリング

P10 新型コロナの影響

P11 スクール事業

P12 サポーターの声

P13 支援・参加のご案内

P14 メディア出演・講演 / 財務情報

P15 団体概要

## ご挨拶

### Message from President

2020年3月初め、私はインド、バングラデシュにいました。当時、日本で新型コロナウイルス感染症は、発生源となった武漢とクルーズ船内の出来事のように感じていたことを、遠い昔のこのように思い出します。その後、インドでは日本より早く入国制限、ロックダウンが実施されましたが、感染者は拡大し、ARUNの投資先や支援先の人々も、大きな影響を受けました。

2020年4月以降、世界中で感染が拡大する中、ARUNの活動もオンライン中心となりました。社会起業家の発掘、支援を行うビジネスコンペティション[CSIチャレンジ]も、初めてフルリモートで開催しました。起業家と直接会ったり、現場を見たりすることなく事業の選定や投資を行うのは初めての経験。現地の状況を正確に把握し、起業家との間で信頼関係を築くために、毎日、数えきれないほどのオンライン・ミーティングを行いました。

想定外の出来事も数多くありましたが、活動を続けることができたのは、ご支援くださった会員や協力企業の皆様、プロボノ、インターンとして活動を担ってくださった皆様のおかげです。また、途上国の人々、遠く離れた隣人に思いを馳せ、クラウドファンディングにご参加、ご協力くださった皆様にも、心から感謝いたします。そして、最も大変な状況の時に、希望を失わずに奮闘を続けた起業家の皆様に、敬意を表したいと思います。

ようやく、みなさまにコロナ禍での活動のご報告ができますことを、とても嬉しく思います。この報告書は、ARUN Seedの会員、プロボノ、インターンの力を集めて作りました。ぜひ、お読み頂き、引き続きご支援いただけましたら幸いです。

どうぞよろしく願いいたします。

機能 聡子

### 代表プロフィール Profile



#### 機能 聡子 Kono, Satoko

認定NPO法人ARUN Seed 代表理事  
ARUN 合同会社 代表

民間企業、アジア学院勤務を経て、1995年より10年間カンボジアに在住。NGO、JICA、世界銀行などの業務を通して、復興・開発支援に携わる。カンボジア人の社会起業家との出会いからソーシャル・ファイナンスに目を開かれ、その必要性と可能性を確信しARUNを設立。日本発のグローバルな社会的投資プラットフォーム構築を目指して活動している。国際基督教大学、ロンドン政治経済大学院卒。SBIビジネスプランコンテスト優秀賞、エコジャパンカップ2010環境ビジネスウイメン賞、第三回日経ソーシャルイニシアチブ大賞国際部門賞、国際基督教大学DAY(Distinguished Alumni of the Year)賞他を受賞。[Forbes Japan世界で戦う日本の女性55]に選出。【60分でわかる！SDGs超入門】(技術評論社)監修。

# ARUN Seedについて

## About ARUN Seed

### ■ ビジョン Our Vision

地球上のどこに生まれた人も、ひとりひとりの才能を発揮できる社会

### ■ ミッション Our Mission

途上国の人々のエンパワーメントと機会の創出  
参加型の社会的投資プラットフォームの構築

### ■ 事業概要 Our Services



#### 社会的投資の実践

Practice of Social Investment

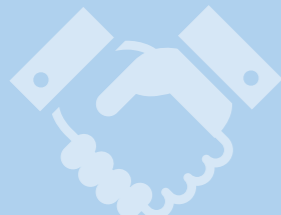
途上国の課題解決に取り組む社会起業家に対して、必要な金銭的・人的資源を投資の形で提供し、事業ステージ・事業形態にあわせて経営支援を行っています。



#### 社会的投資プラットフォーム構築

Social Investment Platform Building

社会的投資やソーシャルビジネスのグローバルな最新情報を発信し、社会にインパクトを与える仕組みづくりに取り組めます。



#### インパクト測定&マネジメント

Impact Measurement & Management

投資先企業の社会的インパクトを測定・可視化し、ステークホルダーへのレポートや社会的企業へのフィードバックを行います。



#### 普及啓発・研修

Learning & Researches

社会的投資のコミュニティ10万人形成に向けて、社会的投資やSDGs、サステナビリティ等に関する研修事業、調査研究、普及啓発活動を行っています。

※社会的投資とは、ビジネスを通じて貧困、雇用、環境などの問題を解決する社会的リターン、そしてビジネスの成功による経済的リターン、そのどちらも追い求める新しい仕組みです。こうした投資手法が広がることによって、社会課題の解決に取り組むビジネスに資金が集まり、持続可能な社会の実現に近づいていくことが期待されています。

# 私たちのこれまでの歩み

## ARUN Seed's History

2009

- ・ ARUN 合同会社を設立
- ・ カンボジアでの社会的投資を開始
- ・ SBIビジネスプランコンテスト優秀賞受賞
- ・ 農作物の流通・販売を行うカンボジアの会社へ投資

2010

- ・ 社会的投資の普及啓発、調査研究、人材育成を目的として一般社団法人 SIFC(後に、一般社団法人 ARUN LAB)を設立
- ・ エコジャパンカップ環境ビジネスウイメン賞受賞
- ・ ヘア・エクステンションの製造・販売を行うカンボジアの会社へ投資

2011

- ・ 第一回ソーシャルビジネスコンペティションを開催
- ・ カンボジアの若者にIT教育と就労の機会を提供する会社へ投資

2012

- ・ 第一回ソーシャルインベストメント国際シンポジウムを開催
- ・ 第二回ソーシャルビジネスコンペティションを開催
- ・ 環境と文化に配慮したホテルを運営するカンボジアの会社へ投資

2013

- ・ 第二回ソーシャルインベストメント国際シンポジウムを開催
- ・ 第三回ソーシャルビジネスコンペティションを開催
- ・ 無電化地域でソーラーパネルの販売、メンテナンスを行うカンボジアの会社へ投資

2014

- ・ インドでの社会的投資を開始
- ・ 一般社団法人 ARUN LAB の事業内容を引継ぎ、特定非営利活動法人 ARUN Seed を設立
- ・ ソーシャルインベストメントスクール開始
- ・ 医療過疎地域における IT を活用した一次医療サービスを行うインドの会社へ投資

2015

- ・ 日経ソーシャルイニシアチブ大賞国際部門賞を受賞

2016

- ・ インドとバングラデシュで地下水浄化システムの開発、設置、メンテナンスを行う会社へ投資
- ・ 第一回 CSI チャレンジ(CSI チャレンジI)の実施

2017

- ・ 東京都より認定を取得し、認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)となる
- ・ 酪農事業向け IoT サービスを提供するインドの会社へ投資

2018

- ・ 第二回 CSI チャレンジ(CSI チャレンジII)の実施

2019

- ・ 代表功能験子が、国際基督教大学(ICU)同窓会より DAY(Distinguished Alumni of the Year)賞を受賞
- ・ 家事労働者マッチングサービスを提供するインドの会社へ投資

2020

- ・ 第三回 CSI チャレンジ(CSI チャレンジIII)の実施

# 2020年度の活動内容

## Year 2020 activities

### CSI チャレンジⅢの開催

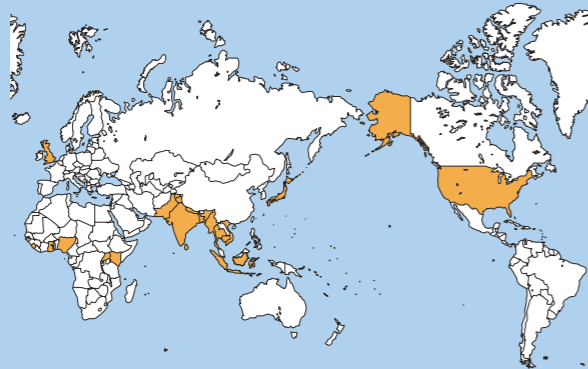
#### CSI Challenge III

##### ■ CSI チャレンジ(クラウド・ソーシャル・インベストメント・チャレンジ)とは

社会課題の解決を図る起業家支援のためのビジネスコンテストです。社会起業家を発掘する「ビジネスコンペティション」と、日本で寄付を呼びかけながら社会的投資を促進するためのプラットフォームづくりを目指す「クラウドファンディング」の両輪で構成されています。

新しい切り口でジェンダー、農業、ヘルスケアなどの社会課題解決に取り組む企業を発掘、支援し、互いに学び合いながらビジネスを通じた持続可能な社会課題の解決を探ることを目的として開催してきました。これまでに3回(2016年、2018年、2020年)実施し、アジア、アフリカ、中東30カ国から約300の社会起業家が参加しました。

選考企業には、ARUNを通じた社会的投資(最大5万ドル)、定期的なビジネスアドバイスやインパクトの測定、モニタリングを行うほか、ARUNのネットワークを活かした企業や投資家との連携などを通して、長期的な事業の成功と社会的インパクトの創出をサポートしていきます。



##### ■ CSI チャレンジⅢ 概要

CSI チャレンジⅢは、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)で深刻な問題に直面している途上国の人たちに寄与するビジネスを展開する起業家の発掘・支援を目的として開催しました。具体的には、コロナ禍の影響を受ける、社会的に弱い立場に置かれている女性・子ども・難民を現地で助けることのできる起業家を発掘し、彼らのビジネスを投資の形で支援することが目的です。

ビジネスコンペティションでは、全世界を対象に募集し、アジア、中東、アフリカを含む26カ国104社からの応募をいただきました。事業内容は、農業、教育、環境、ヘルスケアなど多様な分野に渡りました。また応募企業の35%は女性経営者でした。書類選考、オンラインインタビューを経て、パレスチナ・ガザ地区、シエラレオネ、インド、ミャンマー、インドネシアから6社をファイナリストに選出、有識者による最終審査会で優勝企業を決定しました。

##### CSI チャレンジⅢ ファイナリスト企業

| 結果      | 企業名                 | 所在国    | サービス概要         | SDGs Goal |
|---------|---------------------|--------|----------------|-----------|
| 優勝      | Du Anyam            | インドネシア | 伝統工芸品販売支援      | 1,5       |
| 選出      | Janitri Innovations | インド    | リモート医療サービス     | 3         |
| 笹川平和財団賞 | Greenovator         | ミャンマー  | 農家向けモバイルアプリ    | 2         |
| 選出      | Sirona Hygiene      | インド    | 生理・衛生用品        | 3,5       |
| 選出      | Mosabi              | シエラレオネ | 教育・金融サービス      | 4,8       |
| 選出      | GGateway            | パレスチナ  | 教育・IT アウトソーシング | 8         |

##### 優勝企業 Du Anyam(ドゥ・アニヤム) <https://duanyam.com/>

優勝企業には、アプリを用いて農村部の職人と購買企業を繋ぎ、サプライチェーンの見える化や、農村部の職人に対する研修サービスなどの提供を行い、将来的には、金融へのアクセス提供も検討しているドゥ・アニヤムが選ばれました。農村女性の工芸品生産からの収入の増加、安定化による、女性のエンパワメントと貧困削減が期待されています。

##### ● 取り組む課題

インドネシア農村部では、伝統工芸品の販売が大きな収入源となっていますが、在庫管理やコスト管理ができておらず、販売先も限られているため、収入向上が難しくなっています。

##### ● 評価された点

ドゥ・アニヤムは、ビジネスによる裨益者の広がりが期待できること、コロナ禍により観光産業からの収入が激減する農村の中小零細企業に対して、オンラインでのグローバル展開を通じて収入確保の道を開いたこと、役員全員が女性で女性のエンパワメントに貢献していることなどが評価されました。



インドネシア・フローレス島の編み手の皆さん



フローレス島のかご

### クラウドファンディングでは、281名の方から、552万円のご支援をいただきました。

\* CSI チャレンジには、過去3回の合計で597名の方からご支援を頂きました。  
本当にありがとうございます！

#### ご支援者の皆様からのコメント

- コロナ危機は世界を覆い、もともと脆弱な人・社会に最も強く影響を及ぼしていると思います。そんな中、現状に甘んじず社会を変えたいと思う人たちが社会起業家として事業を継続していくのは(自分も含め)とても大変なこと。CSI チャレンジによりコロナ危機の中闘う社会起業家とつながり、応援できますように！
- 世界的に、“自分”ファーストに寄りすぎていた雰囲気が、コロナ禍で支え合い・感謝へと少し変わってきたような気がします。この支え合いの輪を日本の外に広げ、さらにその国々での社会問題の解決に繋げようとする素晴らしいプロジェクトですね。陰ながらではありますが、引き続き活動を応援しています。
- 取り組みを読ませていただきました。一人の志高い行動が世界を変えようと思ってます。僅かばかりですが応援させていただきます。別の国でも志高く、挑戦する方に関われる機会をありがとうございます！

##### 協賛

MS & AD ゆにぞんスマイルクラブ 様  
公益財団法人 笹川平和財団 様

##### 後援

独立行政法人 国際協力機構(JICA) 様



## 大久保 明日奈さん

ARUNはインパクト投資の第一人者です。途上国の社会起業家を発掘し、彼らと対話してどのような社会課題解決に貢献できるかを考えながら、インパクト投資を実践しています。投資先の社会起業家発掘のため、CSIチャレンジというビジネスコンペティションを実施しており、私は第3回目のCSIチャレンジに関わらせて頂きました。同じ志を持つ会員の皆さんと一緒に、意義のあるビジコンの企画・運営に携わったことは素晴らしい経験で、プロボノでもこのような活動ができるのがARUNの魅力です。



## 今井 絢さん

CSIチャレンジⅢは、COVID-19による様々な制限や不確定要素が残る中、起案から実施に至るまでの全工程を遠隔により実現したプロジェクトでした。私はファンドレイジング以降の段階(起業家の募集、各種分析、審査方法の確定と審査用資料の準備等)を担当しましたが、国内外に散らばるメンバーと共にプロジェクトを進めるのは容易ではありませんでした。また、今回のCSIは募集対象を初めてアジア外に広げたため、分析対象や関係者数が例年よりも多く、タイトなスケジュールで物事を前に進める必要がありました。メンバー間の協力体制、有識者の方々のアドバイス、何よりも応募して下さった起業家の皆様との繋がりがあったからこそ、予想外の困難に直面しながらも実現が叶ったと思います。ご協力頂いた皆様に、感謝申し上げます。



## 石川 博紳さん

2019年7月ARUNSeedにサポーター会員となり「CSIチャレンジⅢ」を一から創り上げるプロセスに参加した身にとって、2020年12月の最終審査会の成功、2021年11月ドゥ・アニヤムへの投資実行は奇跡的な出来事に感じられます。多くの方々の献身と努力が一つのWILLとなって「意志ある投資」を実行することができました。今後この経験が新たなWILLに繋がることを期待しています。



## 投資先企業のモニタリング

## Monitoring Arun's existing investments

## ■ 投資先モニタリング概要

ARUNでは、投資先の企業に対して隔週でミーティングを行い起業家の経営支援を行っています。月次で業績推移を確認する他、社会的インパクトを表す指標を定めて、測定、モニタリングを行っています。また四半期に一度、投資先企業のレポートを作成し、会員と共有しています。

## 〔CSIチャレンジⅠ 投資先モニタリング〕

投資先企業 **Stellapps(ステラアップス)** <https://www.stellapps.com/>

## ①企業概要

2011年に代表ランジス・ムクダダン氏はじめ大学の同級生5人でインド・バンガロールに設立。インドでは高い乳製品需要から酪農セクターの市場は巨大であるものの、牛乳の多くは零細酪農家により生産され、非効率さや流通過程のロスが多いなどの課題を抱えています。同社はIoT技術を用いて、牛の健康状態の遠隔管理サービスや、牛乳の保冷システムなど、サプライチェーン全体の効率化に寄与するソリューションを提供しています。

## ②投資後経緯、ビジネスの成長

ARUN Seedは、2017年に同社に5万ドルを投資。その後ビル・ゲイツ財団やクアルコム・ベンチャーズ等、世界的な財団やファンドからも投資を受けています。現在従業員は300人を超え、サービスを利用している農家の数は約280万戸に上り、インド各地でビジネスを展開しています。フィンテックとの連携や自社サプライチェーン構築などの新規事業を拡張するため、2021年度には増資を予定しています。

## ■ CSIチャレンジⅠ 概要

CSIチャレンジⅠでは、「Innovation x Social Challenge For Next Generation」というテーマを掲げ、イノベティブなアプローチでビジネスを通じた社会課題の解決を目指すアジアの社会的企業を募集しました。アジア8か国52社からの応募があり、書類選考を経てファイナリスト企業5社を選定しました。優勝企業には、インドでIoT技術を活用した酪農セクター向けサービスを提供しているステラアップスが選ばれました。

## CSIチャレンジⅠ ファイナリスト企業

| 結果  | 企業名                | 所在国    | サービス概要            | SDGs Goal |
|-----|--------------------|--------|-------------------|-----------|
| 1位  | Stellapps          | インド    | 酪農事業向けIoTサービス     | 2         |
| 2位  | Awaaz.De           | インド    | 携帯電話による音声配信サービス   | 1         |
| 奨励賞 | Bintang Sejahtera  | インドネシア | ごみのリサイクル          | 12        |
| 選出  | Ulekz              | インド    | 大学生向け電子書籍配信サービス   | 4         |
| 選出  | Green Agrevolution | インド    | 中小農家向けマーケットプレイス運営 | 2         |

## 〔CSIチャレンジⅡ 投資先モニタリング〕

投資先企業 **BookMyBai(ブックマイバイ)** <https://www.bookmybai.com>

## ①企業概要

2015年に代表アナバム・シンハル氏によりインド・ムンバイに設立されました。インドでは伝統的に家事労働者の需要が高いものの、雇用者の家庭内で、契約書もないまま低賃金・長時間労働を強制されるなど搾取されやすく、社会問題となっていました。同社はアプリを活用して効率的かつ安全に雇用者と家事労働者のマッチングを行っています。公平な契約の確保と家事労働者の待遇改善を通して、労働者とその家族の生活水準や教育水準の向上、貧困削減を目指しています。

## ②投資後経緯、ビジネスの成長

ARUN Seedは、2019年に同社に2万5,000ドルを投資。契約時の適切な給与設定により、労働者の収入は前職と比較して平均約60%上昇しています。堅実に売上を伸ばしていましたが、コロナ禍により大きな打撃を受けました(コロナ禍の影響については後述)。新型コロナウイルスの影響により既存ビジネスが大きく影響を受ける中、新規事業として、スマホアプリにより求職者と雇用者を直接つなぐサービスの開発を開始しています。

## ■ CSIチャレンジⅡ 概要

CSIチャレンジⅡでは、「Challenge Innovation for the SDGs」というテーマを掲げ、SDGs達成に向けた優れた取り組みを行う社会的企業の発掘、世界の社会的企業と日本のネットワークをつなぐ社会的プラットフォームの構築を目的に実施しました。アジア15か国128社からの応募があり、書類選考を経てファイナリスト企業6社を選定しました。優勝企業には、インドでITを用いた家事労働者のマッチングサービスを提供するブックマイバイが選ばれました。

## CSIチャレンジⅡ ファイナリスト企業

| 結果       | 企業名         | 所在国   | サービス概要                 | SDGs Goal |
|----------|-------------|-------|------------------------|-----------|
| 優勝       | BookMyBai   | インド   | 家事労働者マッチング             | 1,5       |
| オーディエンス賞 | WonderTree  | パキスタン | 障がい児教育×AR              | 3,4       |
| 審査員賞     | Greenovator | ミャンマー | 農家向けモバイルアプリ            | 2         |
| 選出       | ftcash      | インド   | リアルタイム決済サービス           | 8,9       |
| 選出       | Awaaz.De    | インド   | 自動音声応答システムによる音声コンテンツ提供 | 1         |
| 選出       | Khaloom     | インド   | 廃棄物再利用による手織物製造・販売      | 12        |

# 新型コロナの影響

## The Impact of COVID-19

### ■ 新型コロナによる投資先企業への影響

新型コロナウイルス感染症が、途上国にどのような影響を及ぼし、社会起業家たちがどう立ち向かったのかを、ARUN Seedの投資先を通してご紹介します。

各国で感染が拡大し最初のロックダウンが行われた頃(2020年春)に実施した起業家インタビュー(動画)もご覧ください。

<https://www.youtube.com/channel/UCxjWWanNvclUD1bPJ20KbLA/featured>



新型コロナによるロックダウンで離職中の労働者に食料品を配る(インド、ブックマイバイ)

### ステラアップス:インド ▶▶▶ 酪農事業向け lot サービス

ステラアップスは、インドの酪農セクターにおけるサプライチェーン全体の効率化によって、酪農家の収入向上に貢献してきました。しかし、コロナ禍で繰り返された厳しい行動制限により、小規模酪農家が牛乳を精製所に運び入れられないなど、サプライチェーンの一部が一時的に麻痺する等の影響がありました。また従業員がリモートで業務を行うのが初めての経験だったため、戸惑いも多く、円滑に回るまでに時間がかかりました。

自宅で働く上での課題は、同僚に対面で会えないことでした。そこで、ステラアップスでは、従業員との交流を増やすために「アート」に注目。絵やスケッチ、写真など、社員のアート作品を集めて、電子書籍にまとめたそうです。出来上がったアートブックはとても好評で、自分の会社の同僚がそのような才能を持っていることに驚き、感激した、という声が寄せられたとのこと。ステラアップスでは、コロナ禍の取り組みとして始めたこうした活動を、これからも、続けていくそうです。

生乳の需要については、外出制限により菓子用は減少したものの、新型コロナに対する免疫力向上などを求める個人需要自体はむしろ増加傾向にあり、大きな打撃はありませんでした。今回のパンデミックを通して、乳製品市場の底堅さが改めて明らかになりました。

### ブックマイバイ:インド ▶▶▶ 家事労働者マッチングサービス

インドでは、家政婦は貴重な働き口です。約400万人が家事労働者として働いていると言われており、その大部分はスラム出身や農村部から出稼ぎにきた女性です。しかし、新型コロナウイルス感染症によるロックダウンで、家政婦を雇えない家庭が増えています。

家事労働者のマッチングサービスを行うブックマイバイも、数回に亘るロックダウン中は、新規の労働者派遣も停止するなど、厳しい環境下にありました。一方その間、離職中の労働者のためにフードドライブを実施、また公共交通機関閉鎖中には、派遣先に向かうメイドに対してのUber代金を補填するなどの支援を行っていました。その後ロックダウンは解除されたものの、行動制限や、帰郷した地方からの労働者の戻りが鈍いなど、新規雇用は伸び悩みました。そんな中でも、新たなビジネスとして、アプリを使った派遣サービスの開発を開始するなど、チャレンジを続けています。

### ドゥ・アニヤム:インドネシア ▶▶▶ 伝統工芸品販売・生産者向けサービス

ドゥ・アニヤムは、農村のコミュニティと緊密に連携し、工芸品の販売事業や、モバイルアプリを用いて職人がEコマースや金融サービスへのアクセスが可能となる新事業への取り組みを進めることで、インドネシアの島しょ部や農村の伝統的な工芸品の作り手たちの経済力や生活水準の向上を実現しています。

新型コロナウイルス感染症の影響でインドネシアの観光客は激減しました。ドゥ・アニヤムの扱う商品についても、ホテル向けの出荷の減少や、イベント等の中止による販売機会の損失など、影響は少なくありませんでした。しかし、在宅時間の増加によりインテリア関連の支出が増えたり、企業向けギフトの需要が高まったりしたことから、売り上げは堅調に推移しています。更に、コロナ禍にあって、公的機関や企業による就労支援、職業訓練ニーズは高く、こうした研修請負による収入が増加しました。

# スクール事業

## Social Investment School

### ■ スクール事業概要

スクール事業は、ARUNの社会的投資のコミュニティ10万人形成に向けた普及啓発活動の柱として2014年に開始しました。累計200人以上の受講者を輩出し、着実にその裾野を広げつつあります。また将来を担う若い世代に対して、社会的投資の概念を普及すべく、高校や大学等の教育機関にて学生向けのソーシャルインベストメント講座も行っています。

### ■ 2020年度のスクール実施状況

2020年度は、ソーシャル・インベストメント・スクールを初めてオンラインで開催しました。講座は、①社会的投資の基礎知識、②ARUNの実践事例の紹介、③投資判断の模擬体験、という構成で行いました。ブレイクアウトセッションなどを活用して、ディスカッションやグループワークを行い、社会的投資の定義から、投資判断まで、社会的投資のプロセスを体験できるよう工夫しました。結果として、オンラインではありますが、初心者から経験豊かな方まで、幅広い層の方に、社会的投資のリアルな姿に触れていただけたのではないかと思います。

### これまでのスクール事業実績

これまでの  
スクール実施回数



27回

累計受講者数



211名

参加者の平均満足度  
(5点満点中)



4.6点

### スクール参加者の声

#### 弁護士

大変情報量が多く、社会的投資の全体像や、これまでと今後の発展の流れについて、ESGとの関連性も含め網羅的に学ぶことができました。社会的インパクト評価の効果と課題についても、これからより理解を深めていきたいです。

#### 金融機関勤務

大変興味のある領域について学べたことや、似たような関心を持つ方達とのネットワークも持てました。今回のスクールを通して、現状から将来やりたいことへの近づく方や、次のステップが少しずつ明確になってきた気がしました。

#### 事業会社勤務

参加者の方の正確な知識や、経験に基づいた発言が非常に興味深かったことや、自分にはない視点での発言も多く、とても勉強になりました。



# サポーターの声

## Voices from ARUN Seed supporters

ARUN Seedの活動は、多くのボランティアやプロボノ、インターンによって支えられています。  
サポーターの声をご紹介します

### サポーター会員

#### 宮本 聡さん

立ち上げの時から知っていたARUNに、今年になって改めて会員という形で関わらせていただいています。ARUNが日本における社会的投資の先駆的な実践者であることは皆様ご存じかと思いますが、ARUNにはその実践による学びを共有し、議論し、発信して行く場があります。今、日本を含めた世界各国で社会的インパクト投資やESG投資が注目を浴びていますが、けっしてそれだけが社会的投資ではないことがARUNと関わっているとよくわかります。お金に意志を込めるというのは実に面倒で手間のかかるプロセスですが、手間と年月をかけたからこそ見えてくる景色があります。ぜひ一緒にこの風景を見る仲間になってください。



#### 梶 由利子さん

ARUNでは様々な年代、業種の社会人や学生がプロボノ・インターンとしてそれぞれの得意分野を活かして活動しています。途上国の社会起業家とのコミュニケーションや会員間の交流など、ARUNというコミュニティを通じて、社会企業の現場を支援し、多くの気づきや学びを得られることがARUNの魅力です。



### 法人・団体サポーター

#### MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ

MS&AD インシュアランス グループ社員の社会貢献活動団体「MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ」は、2016年度よりARUNの取組みを継続的に支援しています。同クラブでは、「SDGsの視点に立って、国内外で社会課題解決の取組みを支援する」という目標を掲げており、ARUNが途上国の社会起業家に対して多面的な視点から推進する経営支援の活動に賛同しています。この支援を通じて、途上国の社会起業家たちが「自らの手で社会を発展させよう」という強い意志をもってビジネスの力で貧困を削減していき、持続可能な社会への変革につながることを大いに期待しています。



インターン・ボランティアの活動風景



# ARUNの活動に参加してみませんか？

## Get Involved

世界の社会起業家とともに、社会課題を解決に導く一歩を共に歩んでみませんか。  
あなたの「意志あるお金」が世界をより良くしていく活動に繋がります。皆様のご協力をお願いいたします。

### ■ サポーター会員になる

継続的な支援でARUN Seedを支えてくださる会員を募集しています。様々な企画やイベントなどに共に取り組んでいただくことで、現地企業の状況や世界の社会的投資に関する動向をメンバーの皆さまと共有していきたいと考えています。ソーシャルビジネス支援を通じて世界を変えていきたい、社会的投資に関わっていきたい、そんな志を持ったメンバー同士のコミュニティーです。

<https://arunseed.jp/joinus>



### ■ 企業・団体として支援する

世界の社会起業家と共に、新しい社会課題解決の取り組み(SDGs達成)を目指す企業・団体の皆さまを募集しています。現地企業の動向を知ることで、新たなイノベーションや事業展開のヒントに繋がるかもしれません。

<https://arunseed.jp/joinus-as-association>



### ■ 寄付する

都度の寄付でのご支援も受け付けております。いただきましたご寄付は、途上国への社会的投資の実践、社会的投資の調査研究、情報発信などに大切に使用させていただきます。

<https://arunseed.jp/donation>



### ■ 本・物で寄付する

ご自宅、学校、オフィスなどに眠っている読み終わった本、聴かなくなったCD、観終わったDVD、ゲームソフトなどをダンボールに詰めて送ることで、支援の輪に参加することができる仕組みです。

#### 本棚お助け隊

<https://hondana.biz/charity/>



#### チャリボン

<https://www.charibon.jp/partner/arun-seed/>



### ■ 活動を知る・参加する

活動の様子はウェブサイトやSNSで発信しています。いいね！やシェアで応援して頂けると大きな力になります。

#### ウェブサイト

<https://arunseed.jp/>



#### youtube

<https://www.youtube.com/channel/UCxjWWanNvclUD1bPJ20KbLA>



#### twitter

<https://twitter.com/arunllc>



#### Instagram

<https://www.instagram.com/arunseed/?hl=ja>



#### facebook

<https://www.facebook.com/ARUNLLC>



#### LinkedIn

<https://jp.linkedin.com/company/arunseed>



インターンや、専門性と経験を活かしたプロボノなども随時受け付けておりますので、ぜひお問い合わせください。

[info@arunseed.jp](mailto:info@arunseed.jp)

<https://arunseed.jp/contactus>



## メディア出演・講演

### Media appearances and lectures

#### ■ メディア出演

- 2020年 5月20日 J-WAVE TOKYO MORNING RADIO 『Morning Insight』出演 「熱い！アジアの若者の起業」
- 2020年10月 2日 J-WAVE ENEOS FOR EARTH ～ ONE BY ONE ～ 「今さら聞けないSDGsの基礎！」

#### ■ 講演活動

- 2020年 5月21日 大阪大学「共生学の話題—国際協力とボランティア」
- 2020年10月14日 アジア工科大学「Global Dialogue on Gender, Development and Social Justice」
- 2020年10月23日 日本能率協会 経営革新塾
- 2020年10月30日 国際基督教大学 国際教育協力論
- 2020年12月 1日 朝日新聞アジア「イノベーション視点で考えるSDGsとアジア」
- 2020年12月21日 日本弁護士連合会 連続講座—COVID19と国際人権—第4回「パンデミックとビジネスと人権」
- 2021年 2月10日 東京神宮ロータリークラブ
- 2021年 3月18日 朝日新聞「SDGs書籍の著者に聞く」

他多数

## 財務情報

### Financial overview

#### ■ 財務情報（2020年4月1日から2021年3月31日まで）

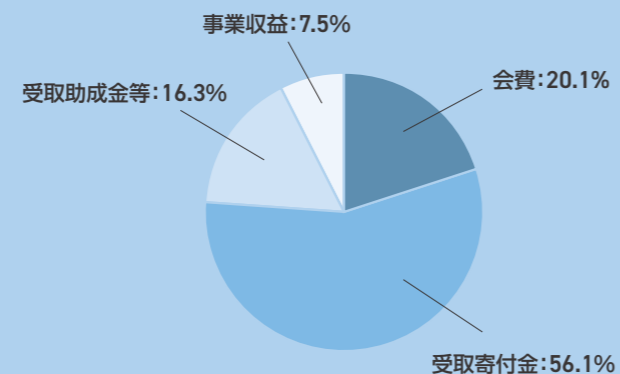
単位:円

|           |            |
|-----------|------------|
| 経常収益計     | 12,236,715 |
| 経常費用      |            |
| 事業費       | 3,481,934  |
| 管理費       | 1,409,203  |
| 経常費用計     | 4,891,137  |
| 当期正味財産増減額 | 7,345,578  |
| 前期繰越正味財産額 | 12,815,734 |
| 次期繰越正味財産額 | 20,161,312 |

#### 収益内訳

単位:円

|       |           |
|-------|-----------|
| 経常収益  |           |
| 受取会費  | 2,462,000 |
| 受取寄付金 | 6,855,147 |
| 受取助成金 | 2,000,000 |
| 事業収益  | 919,500   |
| その他収益 | 68        |



## 団体概要

### Organization Overview

#### ■ 団体概要

|      |   |
|------|---|
| 団体名  | 認定 NPO 法人 ARUN Seed   |
| 設立   | 2014年 3月 10日  |
| 所在地  | 東京都文京区本郷三丁目 40 番 10 号三翔ビル本郷 4 階<br>小野田高砂法律事務所内 social hive HONGO  |
| URL  | <a href="https://arunseed.jp/">https://arunseed.jp/</a>   |
| 役員   | <p>代表理事 功能 聡子<br/>認定 NPO 法人 ARUN Seed 代表理事<br/>ARUN 合同会社 代表</p>  <p>理事 米倉 誠一郎<br/>法政大学大学院教授 / 一橋大学名誉教授 /<br/>一般社団法人 Creative Response Social Innovation School 学長</p>  <p>理事 西郡 俊哉<br/>元国連開発計画 (UNDP)</p>  <p>監事 鎌田 博光<br/>一般社団法人 機関投資家協働対話フォーラム 理事 /<br/>投資家フォーラム 運営委員</p>  |
| 事業内容 | <p>(1) 社会的投資に関する情報提供<br/>           (2) 参加型の社会的投資プラットフォームの構築<br/>           (3) 有望な社会起業家の発掘・支援<br/>           (4) 社会起業家への社会的投資、知識、技術、ネットワークの提供<br/>           (5) 社会的投資に関するセミナー、講演会の開催、企画運営事業<br/>           (6) 調査研究の企画、実施、出版物の作成、及び助言事業<br/>           (7) グローバル人材育成<br/>           (8) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業</p>  |



